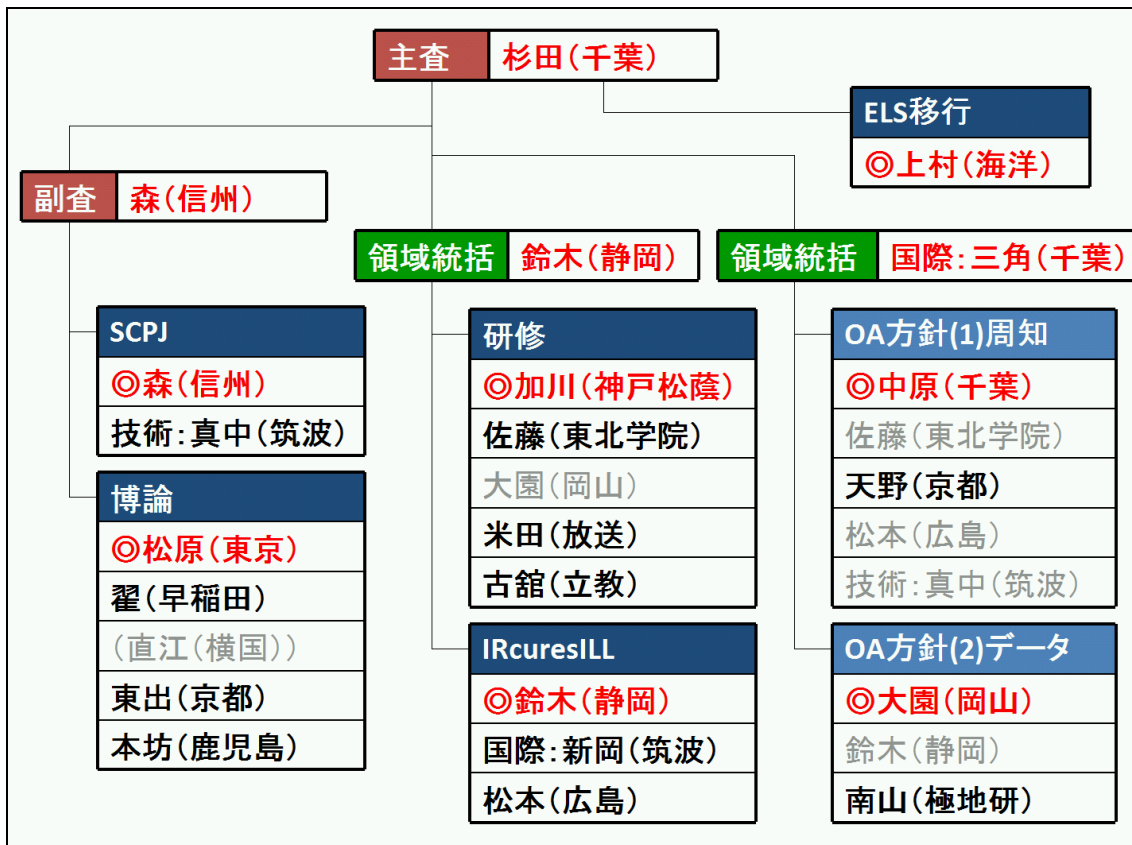


平成 27 年 5 月 15 日
コンテンツ WG

コンテンツ WG 活動計画 (案)

1. メンバー及び体制 (平成 27 年 3 月 16 日現在)



※新年度メンバーに従い、調整・再編予定

2. 活動項目

- ① オープンサイエンス対応 (前項「OA 方針」(1)(2)を統合)
 - ・ 助成団体の OA ポリシーへの対応、研究データへの対応
(以上、別添「オープンサイエンス班の活動について」参照)
 - ・ KAKEN データベース掲載文献のリポジトリ登録勧誘試行
 - ・ 各種出展機会の探求、講師派遣等

- ② 研修
 - ・ 新任担当者研修（JAIRO Cloud 講習会との合同開催）5回
（6/18-19NII、7/23-24 大同大学、9/10-11 広島修道大学、10/1-2NII、12/3-4NII）
 - ・ 中堅担当者研修 1回（10/13-15 神戸松蔭女子大学 ※EU イベント（神戸大学）との連続日程とし、カリキュラムに組み入れる）
- ③ 博論
 - ・ 平成 26 年度の活動成果（別添「博士論文のインターネット公表化に関する現況と課題」）の公開・普及、研修への反映
 - ・ 学術基盤実態調査の調査事項の見通し等も考慮の上、継続的な状況調査の必要性について検討
- ④ IRcuresILL
 - ・ 平成 26 年度の活動（過去の ILL 実績分析、上位論文の電子化・公開についての出版者・著者ネゴシエーション）の結果、電子化・公開可能となった文献の公開作業
 - ・ 公開以降の対象文献 ILL 件数変化の調査分析
- ⑤ SCPJ
 - ・ 今年度はポリシー再調査は実施しない。
 - ・ 政策的オープンアクセスの動向をフォローの上、の必要性の度合い、再調査を行う場合方法を含む、活動計画を検討予定
- ⑥ ELS 移行
 - ・ 候補誌刊行元との調整、移行実施
- ⑦ 研究集会開催（図書館総合展）

2. 予算計画

大項目	小項目	所要経費	備考
調査等	ELS から IR へのデータ移行実験		
	IRcuresILL フォローアップ		
国内出張	WG ミーティング、各課題調査等旅費		※
講習会・講演会	研修会		中堅担当者研修
	図書館総合展フォーラム		

※前年実績（全体ミーティング 2 回ほか）に基づく試算であるが、協力員減員等により所要額は減少の見込み。必要額減少相当分は予備費に繰り入れ、オープンサイエンス対応のための広報資料の制作・催し開催など、今後考えられる需要の発生に備えたい。

以上